

【山形県長井市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

『平成29・30・31年改訂学習指導要領』を踏まえ、令和3年1月26日、中央教育審議会から『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』が示されている。

また、当市では、『第3期長井市教育振興計画』（計画期間：令和6年度～10年度）において、「基本施策1 子供たちが笑顔で楽しく過ごせる学びの場づくり」の中に「(3)GIGAスクール構想とICT教育の推進」を掲げている。

これまで着実に整備を進めてきた電子黒板や1人1台端末、無線LAN等の環境を生かしたICT教育を進めることにより、誰一人取り残さない授業を実践し、授業がよくわかる子供を増やし、学習に困り感のある子供を減らすことを目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に学習者及び指導者用端末を整備するとともに、通信速度1Gbpsに対応するための通信ネットワーク整備を行った。また、授業準備や機器の不具合対応等のサポートのため、情報教育推進員を4校に1人配置し、加えて地域おこし協力隊及びGIGAスクール運営支援センター事業による支援体制を整え、学習活動のサポートを充実させた。

1人1台端末の授業や家庭での活用は日常的になりつつあるが、現在も学校・教職員間でのICTスキルに多少の差が見受けられ、活用の伸びしろはまだある。

令和6年度末時点で導入から4年が経過する1人1台端末は、故障も多くなっているほか、校内Wi-Fiについては、児童生徒数の多い学校等で通信混雑時の速度低下が生じているため、今後も適切な機器更新を継続的に実施していく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

①協働的な学び・個別最適な学びへの利活用

協働的な学びのためのクラウドを活用したグループ学習と、個別最適な学びのためのAIドリル活用や課題に取り組む際に使用するツールの選択を児童生徒に委ねるなどの方策により、子供たちの思考・判断力を育成していく。

②情報モラルや情報リテラシーの向上

上記①の実現に向けた下地づくりとして、授業や動画教材等を通して子供たちの情報モラルや情報リテラシーの向上を図る。

③より良いICT活用授業のための教員研修等の充実

上記①②の実現に向けて、市独自の教員研修の充実や実践的な先進事例の共有、相談体制の強化等を実施していく。

④ICT教育支援体制の充実

引き続き、GIGAスクール運営支援センターや情報教育推進員等による支援を継続し、教員が授業や授業研究に注力できる体制と環境を整えていく。